

あおげっ子ゆうゆうプラザ

会場	開設	令和7年度の活動状況(全校児童数 297)				
		子ども参加率	実施委員	講師	開設期間	講座数
青毛小学校	H20.6 (2008)	175	16	103	6/20~1/23 金 10 ± 3	17
ゆうゆう名の由来		59%				
小学校名が由来						

実施委員長 関根 一郎

あおげっ子ゆうゆうプラザは、2008年開設時、当時のPTA会長が初代実施委員長を務め、その下に父兄、学校、地域が一体となって結集し、“感動”のスタートを切りました。それ以来、その伝統は受け継がれ、父兄、元父兄を中心に実施委員会は構成されております。それだけに、2024年度におけるPTAの解散、廃止の決議は衝撃でした。ゆうゆうの運営はゆうゆうの実施委員会が行っており、PTAの役員会が行っている訳ではありません。しかしながら、PTAの廃止は、父兄どうしの連携、連絡を疎遠にし、それはあおげっ子の運営にも大きく影を落として来かねません。

その様な中での2025年度の立ち上げでした。それだけに実施委員の各々の心には「2024年度以上の結果を出す」という”意地”と”連帯感”が溢れていたと思います。また、現役の父兄も新たに2名、区長様も1名ご参加頂き、多くの新しい発想を得、更に三つの新しい講座の開設にも至りました。あおげっ子実施委員会のキモは、現役の父兄どうしの熱意にあります。どうか、この強みをしっかりと認識し、これからもずっと、伝統として引き継いでいって頂きたいと思っております。

また、あおげっ子の大きな特徴として、各先生方の積極的なゆうゆうへの参加があげられます。歴代校長先生、教頭先生のご理解の下、他校では見られない協調、協働が図られて来ました。子供たちはもちろんの事、大人たちにとっても励みになります。先生方もその時間を楽しんでおられる様でした。今年も、今井校長先生、渡邊教頭先生のご指導の下、多くの先生方が講座を訪れて下さいました。お忙しい中でのご協力誠にありがとうございました。より充実した時間の為、今後とも力をお貸し下さい。

更に今年は、青葉小より不破実施委員、井沢・清沢・宮沢実施委員の講座への参加、協力を頂きました。昨年、一昨年からの交流がよい形で進行している結果であり、青葉小・青毛小・東中とはいつでも、すぐに協力し合える様、これからも良き連携を図って行きたいと思っております。

課題もあります。他校と比べ、地域への浸透、理解が低く感じられます。開校から直に50年、とは言え歴史の浅い学校です。地域の歴史もその浅さと重なっています。その浅い歴史と、広い面積の中に青毛小はあります。開設以来17年間、寄り添い続けて下さる有難い方がおられる一方、その後の方々には中々届きません。引き続き、理解、賛同して頂ける様努力していきたいと思っております。

最後に、子供たちと直接向合い、指導して下さる講師の先生方。その熱意に負けない様心掛けてはいるのですが、全く敵いません。思う様な謝意を示せない事、歯がゆい限りです。講座の盛り上げに少しでもお役に立てる様、実施委員一同張り切っています。どうかこれからも一緒に宜しくお願い致します。

不安の中始まった2025のあおげっ子は、皆様のお力をお借りして、どうか無事に終える事が出来ました。もう既に、実施委員の間では2026に向けて、より楽しいあおげっ子を作るための知恵の出し合いが嬉々として為されています。ゆうゆうを”より深く””より高く”伸ばすには、現場の一体感はもちろんですが、現場と行政との一体感も必要です。”あおげっ子ゆうゆう”と”他の全てのゆうゆう”が成功します様、皆様と一緒に力を合わせて行きたいと思っております。どうぞ、宜しくお願い申し上げます。

ハーバリウム 白石咲子 先生



お料理教室 橋本仁子 先生他



チャレンジ!!スポーツ 原島憲二 先生



楽器遊び 曾和亜由美 先生



学習・読み聞かせ 大友幸子 先生



手びねり陶芸 山崎弘美 先生



将棋・オセロ 稲葉勇夫 先生



飛ばして遊ぼう(新)大豆生田章 先生



楽しいモルック(新) 伊奈貴洋先生



理科遊び 大豆生田章 先生



多言語で遊ぼう 保田真知子 先生



ほわっほわっあみもの高橋光江先生他



楽しい習字 益山雲扇 先生 他



わいわいポッチャ 山川憲一 先生



ロボットと遊ぼう 畠山知文 先生



フラワー教室 立原ひらみ 先生



いこいのルーム(新) 磯川武美 先生

